

一隅を照らそう
3月号

362号
毎月28日発行

E-mail: info@tougakuin.jp



彼岸月によせて

住職 中島 有淳

三月の彼岸会を迎えるにあたり、墓参の供養のため、来し方を
ふり返り、行くべき道を思念する月としたく、そこでお勤に必ず
唱える懺悔文を改めて味読してみます。

懺悔文

我昔所造諸悪業
皆由無始貧瞋痴
従身口意之所生
一切我今皆懺悔

懺悔の文
我れ昔より造りし所の諸々の悪業は、
皆無始の貧・瞋・痴に由る
身と口と意より生ずる所なり、
一切を我れ今皆懺悔したてまつる。

解説 私がかつて造ってきたさまざまな悪い行業は、すべて
遠い過去からの貧、瞋、痴によって生じたものです。この
身体と言葉と意から生じたすべての罪業を、いま仏の前に一
切懺悔いたします。

仏教に親近するには日頃の「気づき」が大切です。

昔から僧侶の世界には「布薩」という日が設けられ、月の十五
日と三十日の二回反省、懺悔する日が決められていました。在家
では六齋日(八齋日)がこれにあたります。

お彼岸によく説かれる六波羅蜜(布施・自戒・忍辱・精進・
禅定・智慧)は、さらに仏の教えを実践することに繋がってい
くのです。

藤助さんと幕末展

神奈川県立歴史博物館にて
2/17 ~ 3/24 開催中

鈴木藤助さんと当院の関係については、山報で以前何度か取り
上げましたが、幕末から明治、江戸から東京への大きな転換期に
橘 樹長尾村のこの地(現宮前区神木本町 多摩区長尾)で生きた
人々の暮らしが「鈴木藤助日記」に刻明に記されています。
日本の歴史の大きなうねりの中で、時の流れに揉まれながらも
人々は懸命に生きていたのです。

そして、等覚院の今の本堂の再建や不動尊の御開帳についても
この日記から当時の様子をつぶさに窺い知ることができるとも
遊心(磯乃)記

いっしょに歌いましょう

* 3月8日 15:00頃より20分位
童謡・手遊び歌など
どなたでも広間にて(無料)

月例・止観(坐禅)会

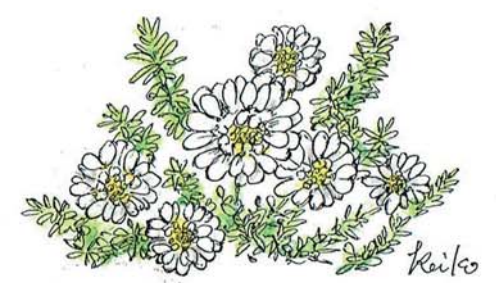
* 3月9日(土)9:30~10:30
¥500 ※要予約

ひなまつり茶会

* 3月9日(土)14:00~15:30
お抹茶を一服。普段着でお気軽に。
どなたでもどうぞ。
¥300 小学生まで無料
※希望者は要電話。

折りふしのはな

イベリス
この白い可愛いお花は
何と云うのかしら?と
時々見かけては
気になっていましたら
ある日「イベリス」と
書いてありました
名前の知らない花々が
本当にたくさん
あるんですね (遊)



月例行事案内

- ◎八日 午後二時 薬師如来祈禱会 観音経読誦
- ◎十二日 午後二時 智泉院法要日(於・日本橋茅場町)
- ◎十八日 午後二時 観音経読誦法要(於・神木観音堂)
- ◎二十八日 午後二時 不動明王護摩供修行

* 毎朝六時より公開で朝のお勤めをしております
ご都合のよろしい時にはご一緒にどうぞ

どなたさまでも
ご参詣下さい

今年最後の黒石寺「蘇民祭」へ

二月十七日、岩手県奥州市の黒石寺(天台宗)で開催された
「蘇民祭」に参加しました。この祭りは一千年以上の歴史がある
とされ、上半身裸で下帯姿の男衆が「蘇民袋」を奪い合う伝統行
事。奇祭として全国的に有名でしたが、関係者の高齢化や担い手
不足を理由に今回で最後となりました。
物凄い熱気に包まれた当日の夜とは打って変わり、翌日のお寺は
静寂の中。ご住職のお話では「終わりは新たなはじまり」と...

副住職 中島 光信

能登半島震災救援募金

一月一日に発生した能登半島震災の救援金を募集
ご協力をお願い致します
◎締切日 三月十五日
*「天台宗災害対策本部」へ寄託送金します
合掌
神木山

あとがき

○岸田政権の支持率が低迷。「政治とカネ」の対応に踏み込めな
い自民党への不満。正念場ともいえそうです。
○ロシアがウクライナに侵攻して2/24で二年。悲惨な戦争の報道に
犠牲者は増えるばかり。「国家と宗教」の軋轢と根深さに、やり
切れない思いです。出口が見えませんが。
○ロシアの反政権派指導者のナワリヌイ氏が北極圏の刑務所で獄
死。その不自然な死に世界中が注目。プーチン大統領にとつてど
の位のダメージとなるか。今後の展開に注目。
○小澤征爾氏が逝去(88)。TVの追悼番組で、改めてその偉業に
驚きました。中国での初演で出生地で始めてのタクトに涙しなが
らの氏に、解説では「人間力」による素晴らしさと成功の因を表
現していました。

さまざまの事思ひ出す桜かな 芭蕉